

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月14日作成)

小委員会名	木質耐力壁構造 Q&A 改訂小委員会	主 査 名：榎本敬大 就任年月：2018年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：河合直人
設 置 期 間	2018年4月 ～ 2022年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2011年8月に刊行した「木質系耐力壁形式構造に関する Q&A」の内容について、最新の知見を基にした内容改定の要否を検討すると共に、刊行後に登場した CLT 等の新しい木質材料や新しい耐力壁形式構造に関する記述の追加など、必要な改訂内容について検討する。なお、改定を予定している「木質構造設計規準・同解説」との整合性や内容の記述の棲み分け、さらに中層大規模における耐力壁形式に必要な事項等についても合せて検討し、改定出版原稿を取りまとめる。</p> <p>初年度：2011年8月に刊行した『木質系耐力壁形式構造に関する Q&A』の内容を精査し、最新の知見や修正すべき箇所の有無やその内容について検討する。</p> <p>2年度：最新の技術的見解による改定箇所の検討を継続すると共に、「木質構造設計規準・同解説」との整合性や記述範囲の棲み分等について検討する。</p> <p>3年度：改定版の目次構成・収載する内容について検討し、原稿の素材を収集、草稿の執筆に入る。</p> <p>4年度：改定原稿を執筆し、上位委員会の査読を受け、査読内容や指摘事項に対応し、出版用原稿を完成させる。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：榎本敬大(建築研究所) 幹事：梶川久光(明治大学)、杉本健一(森林総合研究所) 委員：中村 昇(秋田県立大学)、青木謙治(東京大学)、林崎正伸(建材試験センター)、大浦和香子(ポラス暮らし科学研究所)、岡本滋史(大阪市立大学)、小川春彦(ミサワホーム)、後藤隆洋(日本住宅・木材技術センター)、高岡繭子、津田千尋(ベターリビング)、大橋修(三井ホーム)、藤野栄一(職業能力開発総合大学校)、山崎義弘(東京工業大学)</p>	
設置 WG (WG名：目的)	木質系耐力壁の性能分析WG： 耐力壁構造の終局設計に関する情報収集・整理	
2020年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	7回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 当初の予定通り、『木質系耐力壁形式構造に関するQ&A』(2011年8月刊行)の改定版の目次構成について検討した。 当初の予定通り、改訂箇所に関する素材の収集等を継続し、同書の改訂版の草稿の執筆を開始した。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> コロナ禍において、web会議が中心となり、必要最低限の意思疎通に留まっている。言外の意味等の疎通の難しさとその重要性が垣間見え、改善法を検討する。